ブルキナファソの前進
～数字でみる2013年～

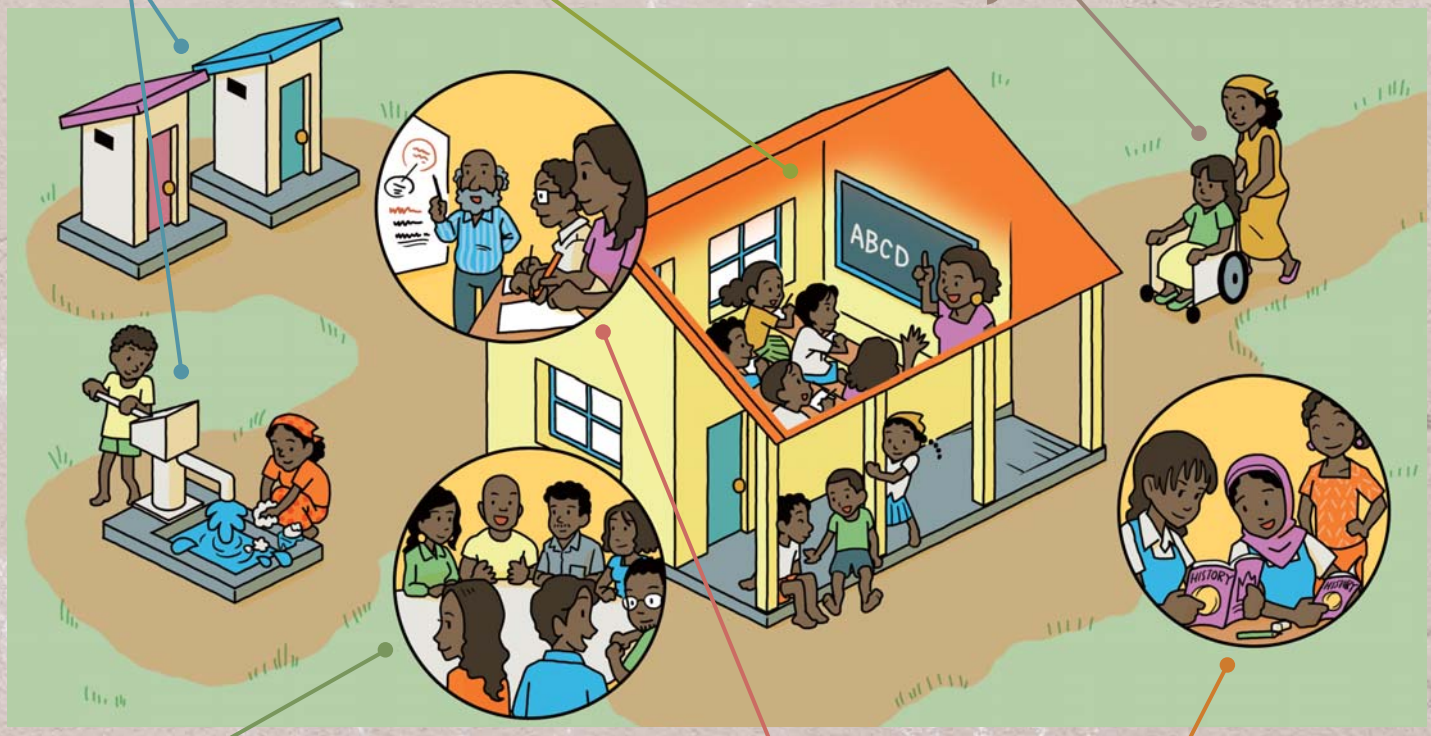
現在、日本の支援が届けられているブルキナファソ。2012年に79.6%だった初等教育の総就学率が2013年には**81.3%**に上昇するなど、同国の教育支援は、着実な成果をあげています。2013年に、幼稚園、小学校、学校外教育施設などでより良い教育の機会を得た子どもは、**110,420人（そのうち53,002人が女の子）**です。

ブルキナファソでの
スクール・フォー・アフリカ事業は、
現在北部、中央北部、中央高原の
3つの地域で実施しています。

19 19の小学校で、安全な水場や男女別トイレを完備

106 小学校106校が、子どもにやさしい学校に

17,500 障がいのある子どもたち17,500人に、就学支援



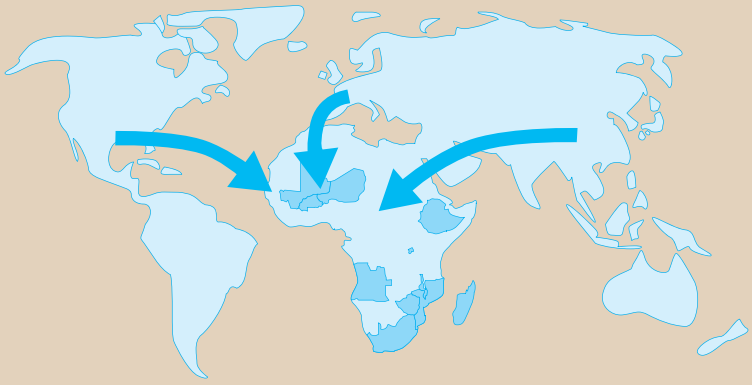
9,460 子どもにやさしい学校運営の研修に、9,460人のコミュニティの人々が参加

1,716 子どもにやさしい授業の研修を受講した先生、1,716人

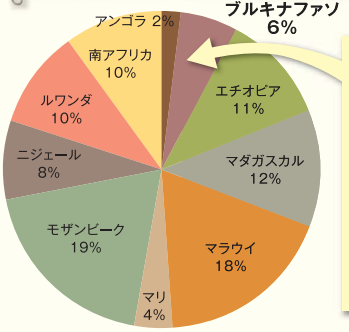
11,000 中等教育への進学支援を、11,000人の女の子へ

『スクール・フォー・アフリカ』の活動資金

『スクール・フォー・アフリカ』ではアフリカ11ヶ国（2014年からは13ヶ国）の活動を支えるため、世界各国のユニセフ協会やグローバル企業が、様々な形で支援キャンペーンを展開し、それぞれが指定する支援国に拠出しています。2013年、日本を含む世界26ヵ国から、総額20億6,000万円の活動資金が、『スクール・フォー・アフリカ』事業に寄せられました。



2013年スクール・フォー・アフリカ国別活動資金割合



日本からは、『ユニセフ・マンスリーサポート・プログラム スクール・フォー・アフリカ』を通じてお預かりしたみなさまのご支援、2,269万円を、2013年の支援金として拠出しました。